

# 令和4年度 後志教育研修センター 調査研究事業報告会

学習指導調査研究委員会



令和5年1月12日

於：後志教育研修センター

# 本報告の骨子

---

- 1 研究の概要について
- 2 研究の柱について
- 3 研修講座について
- 4 検証授業について
- 5 指導案バンクについて
- 6 今年度の成果と課題について

# Ⅰ 研究の概要について

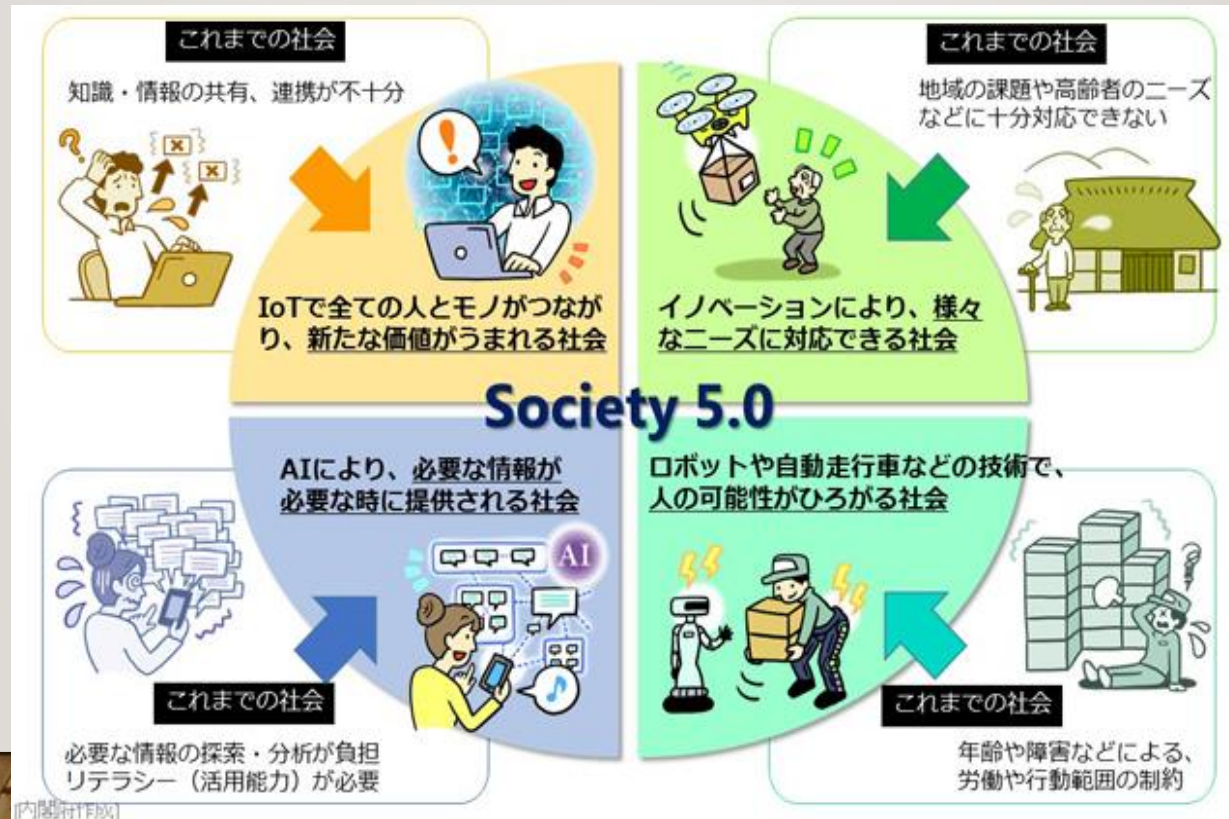
---

(1) 主題設定に関わる社会的背景

(2) 研究主題と研究の方向性

# (1) 主題設定に関わる社会的背景

## ① 子供たちの生きる社会



# (1) 主題設定に関わる社会的背景

---

## ② 求められる「生きる力」

# 生 か る 力

何を理解しているか, 何ができるか  
(知識・技能)

理解していること・できることをどう使うか  
(思考力・判断力・表現力)

どのように社会・世界と関わり, よりよい人生を送るか  
(学びに向かう力・人間性)

# (1) 主題設定に関わる社会的背景

## ③ 「学びに向かう力」とは



# (1) 主題設定に関わる社会的背景

---

④ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

主体的・対話的で  
深い学びの  
実現

+

教科等の特質

+

児童生徒の実態

+

授業で身に付ける  
べき学習内容

# (1) 主題設定に関わる社会的背景

---

## ⑤ 指導と評価の一体化

授業者

学習者

適切な場面や方法で評価

授  
業

児童生徒の成果を  
的確に捉える。

自分自身での  
振り返り

授業改善

次の学習へ



## (2) 研究主題と研究の方向性

---

将来，成人した児童生徒が未来社会を力強く生き抜いていくためには，

学びに向かう力

未来を切り拓いていく力



質の高い授業の実践が不可欠

## (2) 研究主題と研究の方向性

---

授業力の向上

と

校内研究の活性化

～学びに向かう力の育成を通して～

- ・ **学びに向かう力を育成するための授業改善**
- ・ **実践的指導力の向上を図るための教職員研修の工夫・改善**

## 2 研究の柱について

---

検証授業

研修講座

しりべし  
指導案バンク

# 3 研修講座について

---

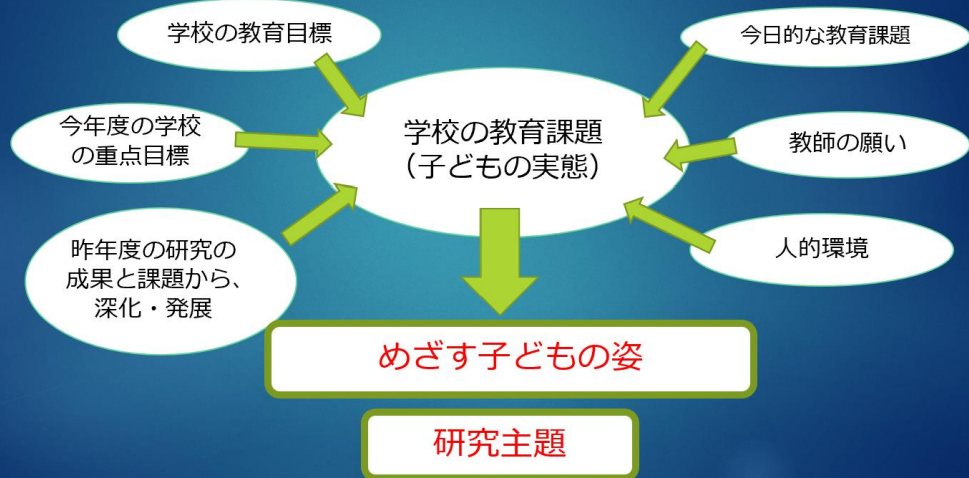
(1)「校内研修」

(2)「学習指導（授業づくり）」

(3)「学習指導（授業改善）」

# ① 6月1日 研修講座「校内研修」講義I

## ④ 研究主題、副題の設定



## ④ 研究主題、副題の設定

研究主題・副題を設定する際の3つの要素

① 目的 (子どもの成長)  
「～の育成」「～を求めて」等

主語は「教師」

② 対象 (研究の領域・分野)  
「～における」「～の研究」等

③ 内容・方法 (研究の手立て)  
「～を通して」等

## ⑤ 研究仮説の設定

具体例

研究主題 自分の考えを豊かに表現する子の育成  
～各教科における言語活動の指導の工夫を通して～

研究仮説例

「交流の場面において、**場や範囲**

ペアワークやグループワーク、全体交流などを効果的に位置づけることにより

具体的な手立て

集団の中で自分の考えや想いを話したり伝えたりすることができるようになるだろう。」

目指す姿、子ども像

## ⑥ 研究推進計画の作成について

作成の仕方 3年計画の例①

【1年次】  
基盤づくり

- ・新テーマ策定
- ・研究体制の確立
- ・仮説や視点の理解
- ・授業実践
- ・成果と課題の共有
- ・次年度重点の明確化

【2年次】  
深化・充実

- ・新テーマ確定
- ・研究の重点確認
- ・授業協力者を招き授業実践
- ・実践の積み上げ
- ・成果と課題の共有

【3年次】  
発展

- ・実践発表会開催による外部の評価
- ・研究のまとめ
- ・主題・副題・視点の見直し
- ・年次研究の立案

# ① 6月1日 研修講座「校内研修」講義I

## ① 研究仮説の検証

研究仮説を具体化する。

仮説は正しかったのか  
↓  
工夫や手立てが効果的だったか  
子どもの成長の役に立ったか

事前・事後調査  
を活用する。  
【方法】  
・質問紙（アンケート）法  
・観察法（見とり）  
・学力検査・テスト など

授業を通して、  
データを収集する。

研究仮説の有効性を検証する。

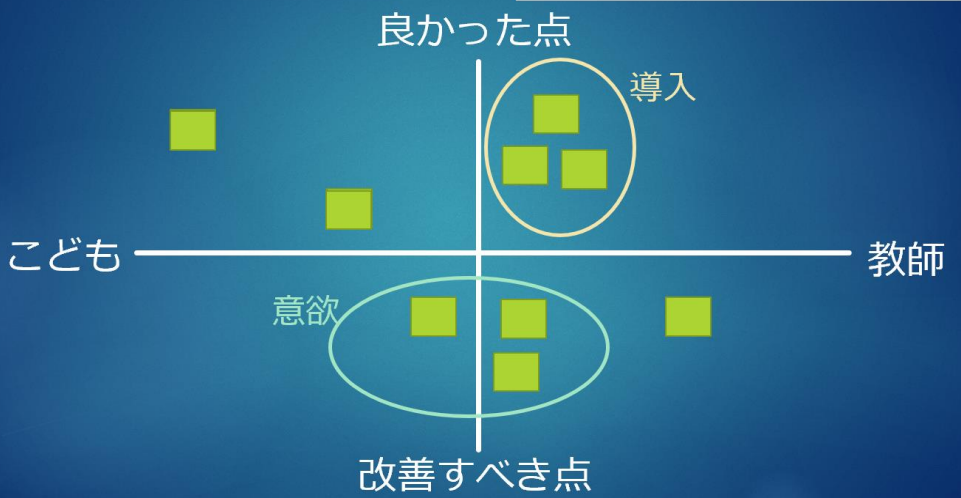
## ② まとめ方と次年度へのつなげ方

校内研修の結論は「**成果**」と「**課題**」！



## ① 研究討議の方法

### 2軸型（+KJ法）例



## ファシリテーターの役割

～協議中～

**中立**  
**守る**

- ・活発な話し合いをしやすい雰囲気作り
- ・積極的なグループへのかかわり
- ・よりよいアイデアなどの引き出し役
- ・発表に対する適切な助言

**安心・安全**

※ワークショップ研修の整理及びまとめ

## ② 6月1日 研修講座「校内研修」講義Ⅱ

研修担当の先生 (= 教師)

**授業者**

自校の先生方 (= 児童生徒)

**学習者**

**どう楽しませるか  
授業改善の視点**

校内研修 (= 授業)

**学習の場や機会**

## ② 6月1日 研修講座「校内研修」講義Ⅱ

### 校内研修活性化の条件整備

#### ノれる目的

経験豊富なベテラン  
意欲的なミドルリーダー  
悩めるビギナー

#### ムリのない日程

周到的な計画  
時間を決め、伸ばさない

#### 明確で有益な内容

話し合いの柱・方向性を明確に  
汎用性のあるまとめ  
授業に生かす

#### 後を引く仕かけ

続きは職員室で  
意図的なグルーピング  
担当からたえず発信



## ② 6月1日 研修講座「校内研修」講義Ⅱ

### 主題研究

特定の教科・テーマに沿った内容  
学校課題の解決や理想の追求

- 授業者感想等
- 小グループ協議
  - 成果・課題・改善案検討
- グループ間交流
- 全体交流
- まとめ・ふり返し

板書等に  
まとめる

45~60分程度

### ミニ研修

あらゆる教科・テーマが対象  
身近な題材・タイムリーな話題  
実態の交流や改善に即した内容

- 導入・説明
- 講義・演習等
- まとめ・ふり返し

20~40分程度

どんな校内研修が理想？

これからの校内研修の形は？

短時間  
明確  
低負担  
主体的  
実践的

## ② 6月1日 研修講座「校内研修」講義Ⅱ

### 【講義型・教授型】

身近な方を講師として招く

スクールカウンセラー

学習支援員

自校の先生を講師とする

道徳推進教師

特別支援コーディネーター

ICT機器に詳しい先生

合唱指導に明るい先生

## ② 6月1日 研修講座「校内研修」講義Ⅱ

### 【話し合い型・全員参加型】

学級の実態や先生方の取組を交流する

学習規律

家庭学習

学級経営

動画で共有する

動画で授業研

NITS校内研修用動画の活用

体験型研修

～プレルポールをやってみよう～

～先生たちも収穫体験（ミニトマト）～

## ② 6月1日 研修講座「校内研修」講義Ⅱ

【講義型・教授型】



### ミニ研④特別支援教育「ニーズ」に応える

9月26日(火)のミニ研修は、本校の特別支援コーディネーターで経験豊富な平間先生に講師をお願いしました。

「障がいのある子どもへの理解と支援」と題して、資料を提供してもらい、事例を紹介してもらいながら、様々な子どもの特性をみとめた支援方法の在り方について考える機会となりました。

今回紹介してもらった事例は、自閉症・注意欠陥多動性障がい(ADHD)・学習障がい(LD)の3つ、平間先生が実際に接してきた子どもの事例も紹介してもらいながら、それぞれの特徴や配慮すべきこと等について教えていただきました。



## ② 6月1日 研修講座「校内研修」講義Ⅱ

【話し合い型・全員参加型】

仁木小児童会 アクティブラーナー 令和元年 8月20日 8月

# Active Learner

師弟共育

### ミニ研③ 傾向をつかみ指導に生かそう

8月20日(火)には、4月に行った学力テストや全国学力学習状況調査、7月に行った児童への授業評価アンケートなどを用いて、仁木小児童の学力傾向の分析や2学期の授業のねらい設定を行いました。



全員で複数の資料を読み合い、分析したことで、仁木小児童の得意なこと・苦手なことがよく見えてきました。全体の傾向としては、

## ② 6月1日 研修講座「校内研修」講義Ⅱ

4) 教師の「学びに向かう力」を涵養する校内研修

**先生方の年齢構成  
先生方のニーズ  
児童や教師の実態・課題  
学校がめざす姿**

# ③ 6月1日（水）研修講座「校内研修」演習・交流

## ▶ 各校の校内研修の現状と課題の交流

- ▶ <主なテーマ>
- ▶ ①よりよい研修について
- ▶ ②全員を巻き込む研修の在り方について
- ▶ ③研修の進め方の基本について

事前アンケートで課題別のグループ分け

R4校内研修講座 事前アンケート

「校内研修」講座を受講いただきありがとうございます。受講した皆様により充実した学びの機会を得られるように、事前にいくつかの質問にお答えください。ご協力よろしくお願い致します。

受講者氏名 \*

教職経験年数 \*

16年以上

校内研修を担当した経験年数 \*

1～3年

「校内研修」講座を受講するにあたっての自分の課題、または、自校の校内研修を進めるにあたっての悩みや困難を感じていることについて教えてください。

先生方の実践力に繋がるような研修を行うのが自分の課題です。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

それぞれの悩みや課題について、交流刷るだけで無く、グループ内で解決方法を模索するなど、これからの実践に生かすためのアイデアを得ることができた。



# ③ 6月1日（水）研修講座「校内研修」演習・交流

## ワークショップ型校内研修の課題（例）

- ①活発に意見は出るが、言いつばなしになって終わる。
- ②マンネリ化の傾向が見られる。
- ③準備に時間を要する。
- ④小グループの構成メンバーによる偏りがある。

## ワークショップ型校内研修の課題

④小グループの構成メンバーによる偏り

**解決策** ・ねらいをもったグループ編成をする。

経験年数の  
バランスのよい  
配置

学年団・同教科  
でまとめる？  
分ける？

グループの  
ファシリテーターは  
誰にお願いします？

## ワークショップ型校内研修の課題

③準備に時間を要する。

**解決策** 研修グッズをまとめておく。



## ワークショップ型校内研修の課題

①活発に意見は出るが、言いつばなしになって終わる。

**解決策**

全体のファシリテーターとグループのファシリテーターで事前に打ち合わせを行い収束への見通しをもつ。

どのように収束していくかのシミュレーション。

予想される意見

話し合いの視点の確認

時間配分

# ①6月14日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

『教師も子どもも明日の授業が楽しみになる1単位時間の授業づくりについて』

## ①タイムマネジメント

令和2年度 小学校教育課程編成の手引

新学習指導要領の趣旨を踏まえた  
教育課程の編成・実施

## ②ねらいに基づいた評価規準

## ③教科書

北海道教育庁学校教育局義務教育課

### 明確にした単元づくり

#### 単元づくりの手順

**1 身に付けさせたい力の明確化**  
【単元の評価規準の設定】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○○○…	○○○…	○○○…

**2 身に付けさせたい力を育む学習活動のバランスのよい位置付け**  
【単元の指導計画】

単元	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価方法
1	○○○…	○○○…	○○○…	○○○…	○○○…
2	○○○…	○○○…	○○○…	○○○…	○○○…

単元全体を通して、観点ごとの学習状況の見取りと、指導の改善

を通してバランスよく位置付ける。

- 【POINT】
- 資質・能力に基づいた評価規準を達成するために、指導計画の組み立てを工夫します。
  - 【主体的に学習に取り組む態度】の位置付けの例  
単元導入と終末に位置付け、単元全体を通して高める。
  - 【知識・技能】の位置付けの例  
小単元などのまとまりで位置付け、確実な定着を図る。
  - 【思考・判断・表現】の設定例  
知識や技能の習得後に位置付け、それらの活用を図る。

取る。

- 【POINT】
- 単元全体を見通して、学習のねらいを明確にし、1単位時間のねらいとまとめ(振り返り)を対応させた板書計画を立て、授業後に自らの指導を振り返ります。
  - 単元全体の評価規準を明確にし、児童の学習状況を見取りながら授業を行うことは、教師が自らの指導を振り返ることにつながります。

## 〔視点2〕「ねらい」から「まとめ・振り返り」までの1単位時間のデザイン

### 1 1単位時間で完結できる導入・展開・終末の時間配分をする。

#### ◆ 適切な時間配分

学習活動は、限られた時間内で、本時のねらいを達成するものです。評価規準に基づいて最も効果的な学習活動を選び、時間配分を工夫して組み立てることが重要です。

#### 【POINT】

授業は、「まとめ」「振り返り」の具体的な児童の姿から想定して構想されるものです。実際に授業を行う際も、45分間で全ての児童を「概ね満足できる」学習状況にする観点から、時間配分を工夫します。

「思考力・判断力・表現力」の育成をねらいとした例		「知識・技能」の習得をねらいとした例	
導入	学習課題 見通し	導入	学習課題 見通し
展開	個人で思考	展開	個人で習得
	ペア・集団で思考		ペア・集団で習得
終末	個人で思考	終末	まとめ
	まとめ		個人で習得
	振り返り		振り返り

### 2 本時のねらいに正対した学習活動を位置付け、評価規準との関連を図る。

#### ◆ 本時のねらいに基づいた評価規準、学習活動の設定

単元全体を通して、身に付けさせたい力を育成するために、単元の指導計画を基に、1単位時間のねらいを明確にし、具体的な児童の姿で本時の評価規準を設定します。児童の思考の流れや課題解決の筋道を明らかにして、ねらいに正対した学習活動を位置付けることが重要です。

#### 【POINT】

本時の「まとめ」「振り返り」の児童の姿を想定し、終末に至るまでの過程を考え、授業を構想します。(右図①→⑤)

#### 【ねらいに正対した学習活動の例：社会科】

知識：事象について習得が必要な知識を項目ごとに基にまとめる学習活動  
技能：複数の資料を見比べ、共通点や相違点から事象の特徴を調べる学習活動  
思考・判断・表現：事象の因果関係を考え、話し合う学習活動



### 3 教科書の構成を理解し、教材研究をする。

#### ◆ ねらいを達成するための主体たる教材「教科書」

教科の主たる教材として活用する教科書は、教育課程の構成に応じた組織排列(配列)について研究され、編修されています。

教材研究では、評価規準を達成するための具体的な学習活動を想定して、教科書の構成や内容を理解することが重要です。

#### 【POINT】

教科書には、児童向けに、学習の進め方や教科の見方・考え方が掲載されています。児童に確認させることにより、課題解決の見通しをもたせます。  
デジタル教材やQRコードが掲載されています。音声教材や映像資料を活用することにより、学習内容の理解を促進します。

# 学習指導・授業づくり

この吹き出しには授業づくりのポイントを載せています！

## 6学年2組 国語科学習指導案

日時 令和4年6月14日(火) 第5校時  
児童  
指導者

前の学年・次の学年とのつながりを考え、指導要領に即してどんな力をつけていくか考えます。

- 1 単元名 立場を決めて、主張を明確にしよう  
教材名 地域の防災について話し合おう パンフレットで知ら

### 2 単元設定の理由 (1) 児童について

同内容の前学年の単元である5年時の「AI との暮らし」の学習では、AI の利用について「賛成」と「反対」のどちらかの立場を決めてミニディベートを行った。

話すときは相手が聞きやすい構成で、意見の根拠となるデータや具体例を資料として示すことで説得力のある意見を述べることを学んだ。また、あらかじめ反論を予想して答えを示すことで、自分と異なる考えを持つ人を納得させやすいということも知り、自分の立場を定めて意見を述べることを学んだ。

また、聞くときは具体例として示された資料や根拠となるデータが主張と結びついているかどうかを考えたり、自分との違いを比べたりしながら聞くことで、よりよい判断ができることを学んだ。

一方で自分の意見を裏付けるデータやAI 使用の具体例について、どういったものなのかをしっかりと把握せずに、意見に組み込んだことで自分の主張と結びつかなくなってしまう児童が少なくなかった。調べたことを理解し、自分の言葉で説明しなおす力が不足している。また、聞く際に話し手が言おうとしていることは概ね理解できたが、自分の意見を伝えるばかりで、相手のよさを見ついたり折衷案を見つめようとしたりするなど、意見を広げていくことができない児童が少なくなかった。

パンフレット作りについての前学年の単元「ポスターを作ろう」では、宿泊学習で体験したことを保護者に伝えるためのポスターを作った。相手に興味をもって見てもらうためには、ニュース風、新聞風など興味を持ってもらえるように工夫した構成を考えたり、文章と写真のバランスを考えてレイアウトをしたりすることの大切さを学んだ。しかし、一番伝えたいことがだんだんとぶれてしまい、冗長な文章を書いてしまったり、伝えたいことと関係のない写真を用いてしまったりする児童が少なくなかった。また、

と語句との関係、語句の化について理解し、語彙すること。また、語感やい方に対する感覚を意識語句を使うことができる。

び技能(1)オ)

らを子ども向けの言葉にして、子どもと一評価や目標を共有することができます。『ブリック評価』の一つですね。

広げたりまとめたりすることができるようにする。

(思考力、判断力、表現力等C(1)ア)  
②引用したり、図表やグラフを用いたりして自分の考えが伝わるように工夫することができるようにする。

(思考力、判断力、表現力等B(1)エ)

うとする。

②粘り強く意見の違いを大事にしなが話し合い、学習の見通しを持って考えを深めようとする。(思考力、判断力、表現力等C(1)アより作成)

③積極的に相手や目的に応じて内容や構成を考え、学習課題に沿ってパンフレットを作ろうとする。

(思考力、判断力、表現力等B(1)エより作成)

### 元における言語活動

その立場から考えを伝えるなどして話し合う活動

(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕A(2)ウ)

を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動

(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕B(2)ア)

### 力評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考したことを豊かな語彙し、調べた内容と自分の主関係性を理解し、正しく具や資料を用いている。	①「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合い、質問をしたり答えたりすることによって考えを深めている。 ②「書くこと」において、筋道の通った文章になるように、文章全体の構成や展開を考え、自分の主張を明確に伝えている。 ③「書くこと」において、自分の言	①意見の違いを大事にしなが粘り強く話し合い、相手と自の意見を比べ、よりよい結論を出そうとし、学習の見通しを持って考えを深めようとしている。 ②相手や目的に応じて内容や成を考え、表現を工夫しながら学習課題に沿って積極的にパフレットを作ろうとしている。

地域の防災について話し合おう・パンフレットで知らせよう(十時間)

- 学習のめあて
- ① 立場を決めて、主張を明確にして話し合おう。
  - ② 岩内町役場の人に「地域の防災について」伝えるために、内容や構成を考え、パンフレットを作ろう。

学習計画(十時間 + テスト)

- 一 パネルディスカッションの目的や大事なことを知り、学習計画をたてる。
  - 二 パネルディスカッションのために、立場別にグループを組み、意見を出し合う。
  - 三 自分たちの立場の主張を明確にし、必要な資料を準備する。
  - 四 パネルディスカッションをする①
  - 五 パネルディスカッションをする②
  - 六 パネルディスカッションを振り返り、自分の考えの深まりや変化をまとめる。
  - 七 パンフレットについて知し、どのように作るのかをイメージする。
- (一)が大事を確認
- 八 書く内容を決め、構成を考える。
  - 九 読み手に分かりやすくするための工夫を考え、パンフレットを作る。
  - 十 作ったパンフレットを読み返してやりがいをもつこと。



地域の方 知	評価	A	B	C
① 材料 各自 準備		<p>① パネルディスカッションにおいて、自分の主張を明確にし、必要な資料を準備する。</p> <p>② パネルディスカッションにおいて、自分たちの立場の主張を明確にし、必要な資料を準備する。</p> <p>③ パネルディスカッションにおいて、自分たちの立場の主張を明確にし、必要な資料を準備する。</p>	<p>① 意見の強い者大勢にしながら、話し合おう。</p> <p>② 話し合おう。</p> <p>③ 話し合おう。</p>	<p>① 話し合おう。</p> <p>② 話し合おう。</p> <p>③ 話し合おう。</p>

# ①6月14日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

## ①タイムマネジメント 例

- 1 前時をふり返る
- 2 問題をつかむ
- 3 課題
- 4 見通しをもつ
- 5 自分の考えをもつ(自力解決)
- 6 交流(ペア、グループ、全体)
- 7 まとめ
- 8 練習問題でたしかめる
- 9 ふり返る

「思考力・判断力・表現力」の育成をねらいとした例		「知識・技能」の習得をねらいとした例	
導入 7分	学習課題	導入 7分	学習課題
	見通し		見通し
展開 30分	個人で思考	展開 23分	個人で習得
	ペア・集団で思考		ペア・集団で習得
	個人で思考	まとめ	
終末 8分	まとめ	終末 15分	個人で習熟
	振り返り		振り返り

## (例) 振り返り

<p>がくしゅうないよう</p> <p><b>学習内容</b></p>	<p>じゅぎょう がくしゅう</p> <p>○授業で学習したこと</p> <p>じぶん</p> <p>○自分なりにわかったこと</p>
<p>まな かた</p> <p><b>学び方</b></p>	<p>がくしゅう なか き</p> <p>○学習の中で気づいたこと</p> <p>ともだち まな</p> <p>○友達から学んだこと </p>
<p>これからの</p> <p><b>まな 学び</b></p>	<p>○もっと知りたいこと </p> <p>○これから生かしたいこと</p>

# ①6月14日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

## ②ねらい (例)5年 算数「小数のかけ算」

**4 小数のかけ算** 教科書 p.44~56 指導時間数 10時間 指導時期 5月中旬~下旬

**単元の目標と評価規準**

乗数が小数である場合の乗法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。 A(3)ア(ア)(イ)(ウ)、A(3)イ(ア)、A(6)ア(ア)

- 乗数が小数である場合の乗法の意味について理解し、小数の乗法の計算ができる。また、小数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。(知識・技能)
- 乗法の意味に着目し、乗数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。(思考・判断・表現)
- 小数の乗法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。(主体的に学習に取り組む態度)

**指導計画と観点別評価規準**

小単元・小見出し	目標	知識・技能	思考・判断・表現
① ② 整数×小数の意味と計算のしかたを理解する。	乗数が小数である場合の乗法の意味や計算のしかたを、乗数が整数である場合の計算の考え方をもとにして、理解している。	小数をかけることの意味や、乗数が小数である場合の乗法の計算のしかたを、小数の意味や既習の計算などをもとに図や式などを用いて多面的に考えている。	小数をかけることの意味や、乗数が小数である場合の乗法の計算のしかたを、小数の意味や既習の計算などをもとに図や式などを用いて多面的に考えている。
③ 整数×純小数の計算のしかたを理解する。 [算数のミカタ]	乗数が1より小さい数の場合の乗法の意味や計算のしかたを理解している。	乗数が1より小さい数の場合の乗法の意味や計算のしかたを理解している。	
④ 小数×小数の乗法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	小数×小数の乗法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	小数×小数の乗法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	
⑤ 被乗数や乗数が10の位までの小数の乗法の計算のしかたを理解し、小数の乗法の筆算のしかたをまとめる。	被乗数や乗数が10の位までの小数の乗法の計算のしかたを理解し、小数の乗法の筆算のしかたをまとめる。	被乗数や乗数が10の位までの小数の乗法の計算のしかたを理解し、小数の乗法の筆算のしかたをまとめる。	
(積の大きさ)	⑦ 乗数と積の大きさの関係を理解する。	1より小さい小数をかけると積は被乗数よりも小さくなることを理解している。	
(面積や体積の公式)	⑧ 辺の長さが小数でも、面積や体積の公式が適用できることを理解する。	辺の長さが小数で表されている場合でも、面積や体積の公式を用いることができることを理解している。	
(計算のきまり)	⑨ 小数の場合でも、交換法則、結合法則、分配法則が成り立つことを理解する。	交換法則、結合法則、分配法則が小数でも成り立つことを理解している。	
まとめ	⑩ 学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	「小数のかけ算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。

[主体的に学習に取り組む態度] は、単元全体を通して評価する。  
・小数の乗法の計算のしかたについて、既習の計算などをもとに粘り強く考えたり、数学的に表現・処理したことを振り返り多面的に検討してよりよい方法を見いだそうとしていたりしている。

**4** どのような学習がはじまるかな？

リボンを買いに来ました

**思考・判断・表現 第1~6時 (原 p.44~51)**  
・小数をかけることの意味や、乗数が小数である場合の乗法の計算のしかたを、小数の意味や既習の計算などをもとに図や式などを用いて多面的に考えている。

**主体的に学習に取り組む態度 [単元全体を通して評価する]**  
・小数の乗法の計算のしかたについて、既習の計算などをもとに粘り強く考えたり、数学的に表現・処理したことを振り返り多面的に検討してよりよい方法を見いだそうとしていたりしている。

**第1・2時** ▶ 研究編 p.88 参照

**目標 1・2/10**  
・整数×小数の意味と計算のしかたを理解する。

**2. 本時の関心の点**

- リボンの代金はいくぐらいかな。
- 長さが整数でなくても、かけ算で考えられるのかな。
- 2.3 をかけるとはということかな。
- 答えはどのように求めればいいのか。
- どんな整数の計算をもとにして、答えを求めているのかな。
- だったら、数が変わっても、同じように考えて計算できるのかな。(次時)

**1 代金を予想しよう!**

リボン 80円 1m

(例) 予想 200円

(例) 2mより長く 3mより短かそうだから、160円から240円の間で200円ぐらい。

みんと: 長さが2mだったら、1mのねだんの2倍だから...

かえで: 2mよりも少し長そうだよ。

80 × 2 = 160 と考えられる。

80 × 2よりは高く、80 × 3より安いことにかえて気づかせる。

1 1mのねだんが80円のリボンがあります。

# ①6月14日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

三年 モチモチの木

五年 言葉と事実

## ③教科書の構成

### 国語 学習計画

**1 たしかめよう**  
 (1) この物語の主な登場人物をたしかめましょう。その中で、心人物はだれでしょうか。  
 (2) 豆太を「おくびよう」だと言っているのはだれでしょうか。また、じさまは、豆太をどのような子だと思っているのか。友達と話し合ってみよう。

**2 考えよう**  
 豆太の気持ちはどのようかわわっていったのか、場面のうかわりに合わせて、ノートに整理しましょう。  
 また、その場面の豆太について思ったことや考えたことをまとめ、話し合ってみよう。

登場人物の行動を語っているのは、語り手だよ。語り手と登場人物のように、立場がちがうと、ちがうことを言う場合があるよ。

場面	豆太の会話や行動	豆太の気持ち	自分が思ったこと・考えたこと
1 真夜中にトイレ「じさまあ。」	・表にあるせつちんに一人で行くのはこわいなあ。	・豆太は五さい、あまえんぼうだな。	

**3 深めよう**  
 物語のはじめと終わりで、豆太はかわったと思いますか。どのように考えた理由はどうしてでしょう。自分の考えとその理由を話し合ってみよう。

**4 広げよう**  
 この物語のおもしろいところをノートに書いて、しょうか合いましょう。書くときには、次のことに気をつけましょう。  
 ・おもしろいと思った場面や言葉をもとに書く。  
 ・心にのこった人物の行動や言葉をもとに書く。

### 言葉と事実 学習計画


事例と解説をもとに、言葉と事実との関係を考えよう

- 筆者の言いたいこととは？  
 (1) 「事実」とは、どんなこと？  
 (2) ③段落「どうも、そうではなさそうです。」この後、筆者はなんて言いたい？
- 三つの事例とは？  
 三つの事例を通して、どのようなことに気を配る必要がある？

**事例と解説**  
 『言葉と事実』は、事例をもとに解説した文章です。「事例」とは、筆者が取り上げた具体例。「解説」とは、その事例をもとに、筆者が伝えたことを、わかりやすく説明したものです。  
 このような文章では、次の点に注意して読むことが大切です。  
 ●筆者が説明していることは、どのようなことが起き、どのような結末になったか。  
 ●筆者が解説していることは、事例のどの部分もともなっているのか。  
 事例と解説の関係を考えることで、筆者の考えをなっとくしたり、疑問点を見つけたりすることが出来ます。

- 経験したことがある「事例」について、考えたいことを書く。
- 友達と交流しよう。  
 (1) 友達はどんな例をもとに考えている？  
 (2) 事実の表し方について、どう考えている？

◎ふり返り  
 ①三つの事例を通して、どのようなことに気を配る必要がある？  
 ②言葉と事実について説明したり、言葉から事実を想像したりできた？



### 学習計画

かだい計画

登場人物の気持ちをそうぞうしながら読もう。

全体をとらえる

登場人物と中心人物  
 「おくびよう」と言っているのは？  
 くわしく読み取る

じさまは、豆太をどのような子だと思っているのか  
 豆太の気持ちは、どのようにかわっていったのか  
 ↓ ↓  
 自分の考え

深めよう  
 豆太は、はじめと終わりでかわったのか  
 ↓ ↓  
 広げよう  
 おもしろいところをしようかいいしよう

# ①6月14日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

## 算数 教科書の基本姿勢

## 「“問い”の連続でつくる数学的活動」

はてな → なるほど → だったら

**問題をつかむ**

- 新しく考えることは何かな。

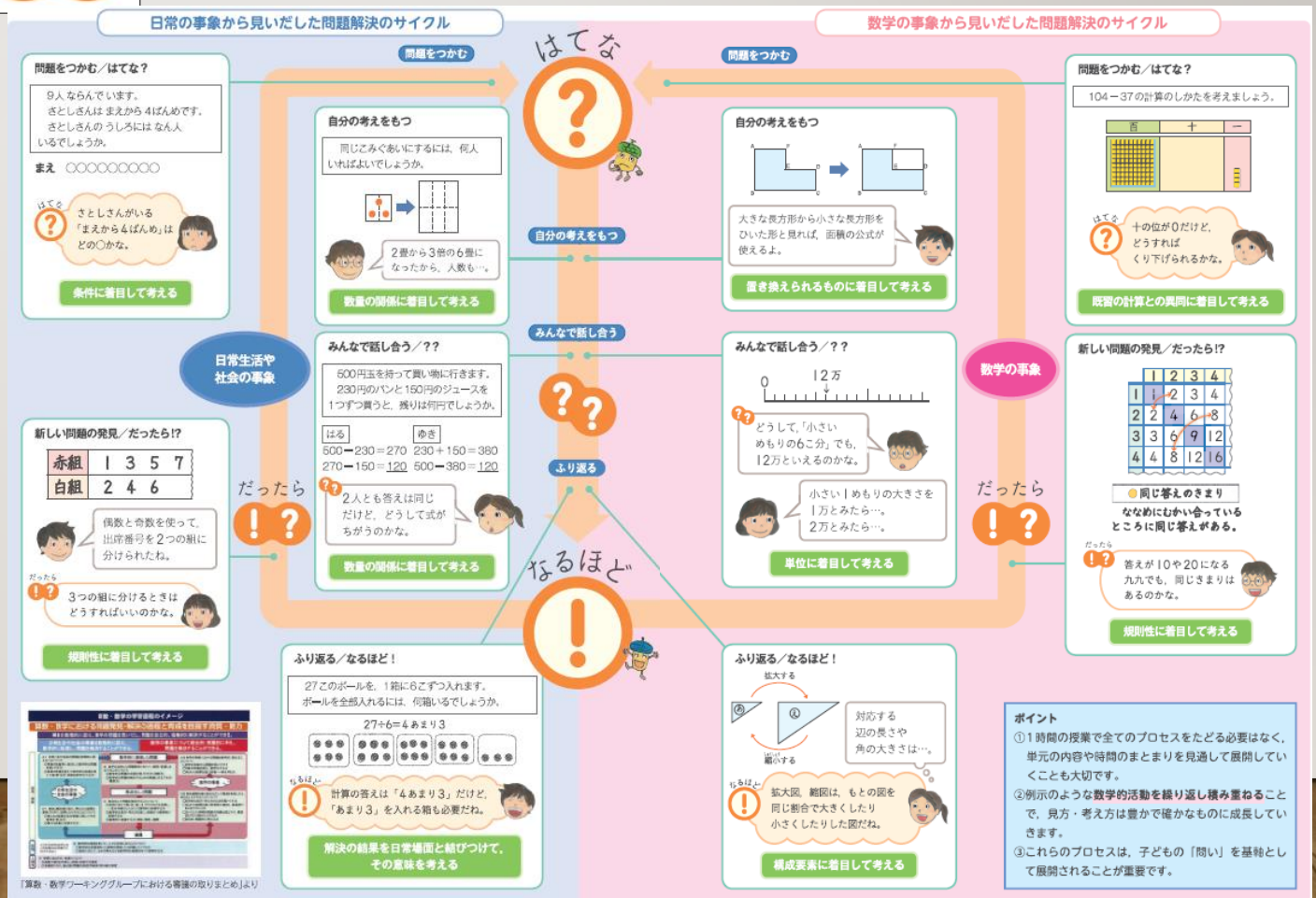
**はてな**

- どうしてかな。
- 本当かな。
- どうすればいいかな。

はる

➡ 単元導入では、

身近な題材から算数の問題を発見し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるよう配慮されている。



算数・数学ワーキンググループにおける精選の取りまとめ(より)

単元	算数	数学
1. 算数	1. 算数	1. 算数
2. 算数	2. 算数	2. 算数
3. 算数	3. 算数	3. 算数
4. 算数	4. 算数	4. 算数
5. 算数	5. 算数	5. 算数
6. 算数	6. 算数	6. 算数
7. 算数	7. 算数	7. 算数
8. 算数	8. 算数	8. 算数
9. 算数	9. 算数	9. 算数
10. 算数	10. 算数	10. 算数



# ①6月14日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

## 交流

## 交流(ペア、少人数)

人数	イラスト	メリット	デメリット
五人以上		<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活班と兼ねてグループ編成ができる。</li> <li>○司会者、記録者を設け、組織的な話し合いが展開できる。</li> <li>○賛成側、反対側に分かれ、ディベート的な話し合いが展開できる。</li> <li>○四人の意見をたたくことで、意見の深まりが期待できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●役割に集中してしまい、自分の意見を言えずに終わってしまうことがある。</li> <li>●話し合いに時間を要する。五分では欲しい。最低十分は欲しい。</li> <li>●タイムキーパーや司会者、記録者の力量によって、自分の意見の報告会で終わってしまいがち。深まりが期待できない。</li> </ul>
四人(カルテット)		<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人がしっかりと意見を準備しておく、話し合いが盛り上がる。</li> <li>○司会者や記録者などの役割を設けず、ざっくりぼんやり話し合うことができる。</li> <li>○机、椅子の配置の仕方によって、よい距離感を保ちながら話し合いが進行できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●二人で盛り上がり、あとの一人が取り残されてしまうことがある。</li> <li>●児童一人一人の性格や個性に配慮した三人の組み合わせを慎重に吟味する必要がある。</li> </ul>
三人(トリオ)		<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人がしっかりと意見を準備しておく、話し合いが盛り上がる。</li> <li>○司会者や記録者などの役割を設けず、ざっくりぼんやり話し合うことができる。</li> <li>○机、椅子の配置の仕方によって、よい距離感を保ちながら話し合いが進行できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●二人で盛り上がり、あとの一人が取り残されてしまうことがある。</li> <li>●児童一人一人の性格や個性に配慮した三人の組み合わせを慎重に吟味する必要がある。</li> </ul>
二人(ペア)		<ul style="list-style-type: none"> <li>○席どうして話すことができ、席の移動がほぼない。</li> <li>○そんなに声を出さず、すみ、近くで他ペアが話している、相手の声がかかり聞かえる。</li> <li>○短時間で、互いがしっかりと自分の意見を主張できる。</li> <li>○集中力が持続しやすい。低学年向き。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教師の見取りが大変。</li> <li>●誰と聞かせるかによって、自分にとってプラスかマイナスか、はっきりと分かれる。</li> <li>●意見の広がり、深まりはあまり期待できない。</li> <li>●「話し合う」というより「意見交換」の意味合いが強い。</li> </ul>

話したくなる授業作り  
話せる環境作り  
意図をもって

何のためにペア交流しているのか  
どんなよさがあるのか  
子どもにも意識させること

話す、聞く時間  
反応の仕方

- ①短時間に話す機会の確保
- ②安心、自信
- ③練習
- ④教師側の支援、見取り
- ⑤アドバイス、ヒント、知る
- ⑥思考の広がり

☆低学年 → 自分なりに表現  
 ……たぐさんの児童が話せる、聞ける経験  
 ☆中学年 → 分かりやすく説明できる  
 ……高め合える練習、価値づける、伸ばしていく  
 ☆高学年 → 的確に説明できる  
 ……自分達で作り上げる授業

# 1 単位時間の授業づくり（中学校）

# 1時間で「何を学ばせたいのか」の確認

学習指導要領



年間指導計画



単元・題材の指導計画



授業の流れ

# 「○○を学ばせたい」から...

なにを教えるのか？

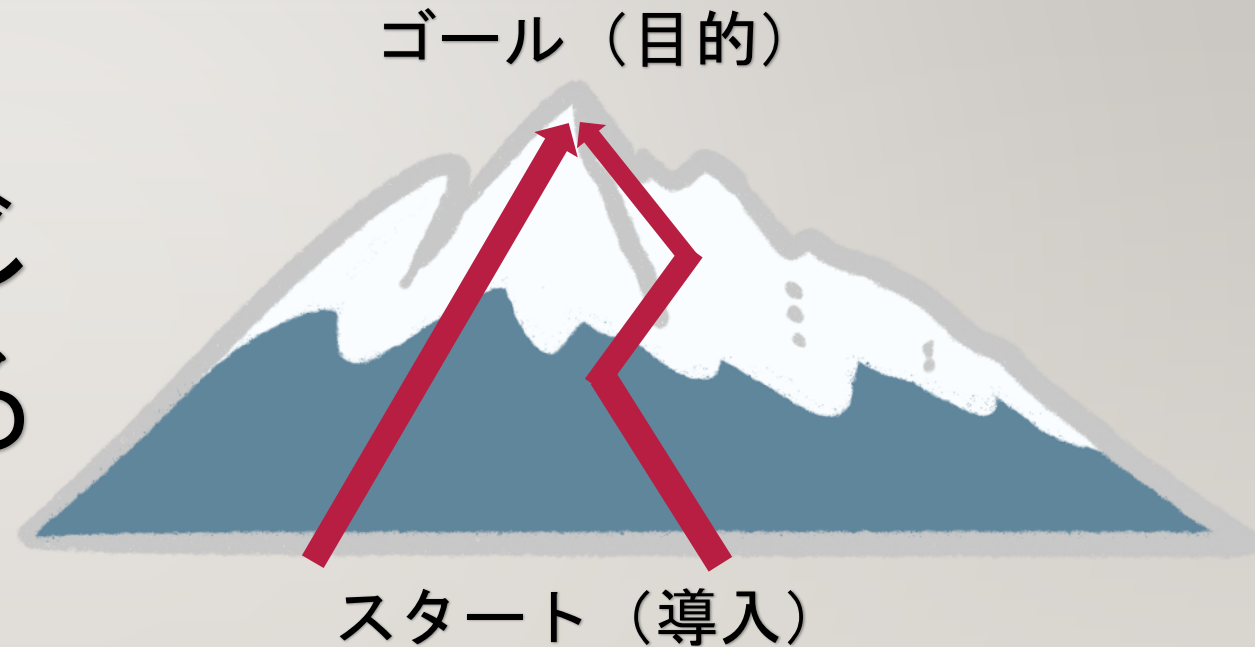
どこを教えるのか？

どこを発展させるのか？

# 「○○を学ばせたい」から...

山登りに例えると...

- ・ 山頂（ゴール）は同じ
- ・ ルートは何通りもある



実態に応じて、改良を重ねていく

# 授業の流れ

振り返り → 導入 → 展開 → まとめ（振り返り）

個人ではなく全員で  
振り返る意識

目的に応じた  
協働的な学習

何を学んだのか  
何ができるようになったのか

# ①6月14日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

授業略案( 年 月 日 時間目)(教科・領域

)(単元・主題名

)( / )

(授業者

)(学級

年 組

名)

板書計画

○本時の目標(ねらい)

---

---

○指導の留意点や準備物・掲示物等

---

---

☆令和4年度の重点! 努力を要する児童への手立て

---

---

---

---

# ②9月20日 研修講座「学習指導」(授業改善)

## 1 3の授業改善の視点

2 「主体的・対話的で深い学び」からみる授業改善の視点

### 主体的な学びに関する授業改善の視点

- 1 学ぶことに興味関心を持つ
- 2 自己のキャリア形成の方向性と関連付ける
- 3 見通しを持つ
- 4 粘り強く取り組む
- 5 自己の学習活動を振り返り次につなげる

2 「主体的・対話的で深い学び」からみる授業改善の視点

### 対話的な学びに関する授業改善の視点

- 6 子供同士の協働を手掛りに考える
- 6A ペアや班で考える
- 6B 学級全体で考える
- 7 教職員や地域の人との対話を手掛りに考える
- 8 先哲の考え方を手掛りに考える
- 9 多様な表現方法を用いて対話する

2 「主体的・対話的で深い学び」からみる授業改善の視点

### 深い学びに関する授業改善の視点

- 10 知識を相互に関連付けてより深く理解する
- 11 情報を精査して考えを形成する
- 12 問題を見いだして解決策を考える
- 13 思いや考えを基に創造する

	課題把握	課題追究	課題解決	振り返り	
主体的な学び	<p>1 学ぶことに興味・関心を持たせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 既習を出す</li> <li><input type="checkbox"/> 「できない」を体験させる</li> <li><input type="checkbox"/> 日常場面で出す</li> <li><input type="checkbox"/> 実物を出す</li> <li><input type="checkbox"/> 疑問を聞く、書かせる</li> <li><input type="checkbox"/> 気付いたことを聞く</li> <li><input type="checkbox"/> 前時のまとめを見直す</li> </ul>	<p>4 粘り強く取り組ませる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 取り組み計画を立てさせる</li> <li><input type="checkbox"/> 止まっている子に既習事項を示す</li> <li><input type="checkbox"/> 止まっている子に友だちの考えを見せる</li> <li><input type="checkbox"/> 試行錯誤の時間を設定する</li> <li><input type="checkbox"/> 思考の道具・材料を用意する</li> <li><input type="checkbox"/> 前回の失敗を振り返らせる</li> </ul>			<p>2・5 振り返りの具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ふりかえりの時間を作る</li> <li><input type="checkbox"/> 学習して考えたこと</li> <li><input type="checkbox"/> 自分の考えが変化したこと</li> <li><input type="checkbox"/> わかった要因を</li> <li><input type="checkbox"/> わかった場面を</li> <li><input type="checkbox"/> これからやってみたいこと</li> <li><input type="checkbox"/> 自分の生活と学んだこととの関連</li> </ul>
対話的な学び	<p>3 見通しを持たせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 課題を先生が出す</li> <li><input type="checkbox"/> 子どもの疑問を教師が課題にする</li> <li><input type="checkbox"/> 子どもに課題を考えさせる</li> <li><input type="checkbox"/> 手順を示す</li> <li><input type="checkbox"/> 具体的な方法を先生が出す</li> <li><input type="checkbox"/> 具体的な方法を子どもから聞く</li> <li><input type="checkbox"/> 簡易的にやらせてみる</li> </ul>	<p>6 ペアや班で考えさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> まず自分の考えを書かせる</li> <li><input type="checkbox"/> 時間を決める</li> <li><input type="checkbox"/> 道具 (W・B付箋) を用意する</li> <li><input type="checkbox"/> 何について話し合うか明確にする</li> <li><input type="checkbox"/> 聞き手に感想を言わせる</li> <li><input type="checkbox"/> 紙や黒板に書いて俯瞰させる</li> </ul> <p>7 先生との対話から考えさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 発問をいくつも用意しておく</li> </ul> <p>8 先哲の考えから考えさせる</p>	<p>6 学級全体で考えさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 発表の順番を決めておく</li> <li><input type="checkbox"/> どの立場から指名するか決めておく</li> <li><input type="checkbox"/> 話し合いの焦点は何か決めておく</li> <li><input type="checkbox"/> 聞き手に質問や感想を聞く</li> <li><input type="checkbox"/> ペア・グループの時間をとる</li> <li><input type="checkbox"/> 話し合いを板書する</li> </ul> <p>9 交流の表現方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 表現する時間を作る</li> <li><input type="checkbox"/> どんな方法で表現するか決めてさせる。</li> <li><input type="checkbox"/> 他の人の表現方法と比較させてよりよく表現させる</li> <li><input type="checkbox"/> 実物を操作して説明させる</li> </ul>		
深い学び	<p>11 情報を精査して考えさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 何についてまとめるか確認する</li> <li><input type="checkbox"/> 子どものカギとなるつぶやきを取り上げる</li> <li><input type="checkbox"/> 解決の方法や手順を教える</li> <li><input type="checkbox"/> イラスト・表など資料から考えさせる</li> <li><input type="checkbox"/> 共通点や相違点を考えさせる</li> </ul> <p>12 解決策を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 課題は何か考えさせる</li> <li><input type="checkbox"/> 既習事項を見直させる</li> <li><input type="checkbox"/> 子どもたち同士で小交流させる</li> <li><input type="checkbox"/> ヒントをあげる</li> <li><input type="checkbox"/> 一人の疑問を全体に伝える</li> <li><input type="checkbox"/> 失敗の原因を考えさせる</li> </ul>		<p>10 全体交流 (深める)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 子どもの発言を取り上げる</li> <li><input type="checkbox"/> わざと間違えた回答を出す</li> <li><input type="checkbox"/> 全員が説明する場を作る</li> <li><input type="checkbox"/> 自分の言葉でまとめさせる</li> <li><input type="checkbox"/> 図や表を使わせる</li> <li><input type="checkbox"/> 黒板に先生が考えを書く</li> <li><input type="checkbox"/> 子どもに考えを書かせる</li> <li><input type="checkbox"/> 友だちの考えを見て、改めて考えさせる時間を持つ</li> <li><input type="checkbox"/> 友だちの考えをノートに書かせる</li> <li><input type="checkbox"/> 他の問題を考えさせる</li> </ul>		

「学びの具体例」  
～具体的な教師の手立て



# ②9月20日 研修講座「学習指導」(授業改善)

	課題把握	課題追進
主体的な学び	<p>1 学ぶことに興味・関心を持たせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 既習を出す</li> <li><input type="checkbox"/> 「できない」を体験させる</li> <li><input type="checkbox"/> 日常場面で出す</li> <li><input type="checkbox"/> 実物を出す</li> <li><input type="checkbox"/> 疑問を聞く、書かせる</li> <li><input type="checkbox"/> 気付いたことを聞く</li> <li><input type="checkbox"/> 前時のまとめを見直す</li> </ul>	<p>4 粘り強く取り組ませる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 取り組む計画を立てさせる</li> <li><input type="checkbox"/> 止まっている子に既習事項を示す</li> <li><input type="checkbox"/> 止まっている子に友だちの考えを見せる</li> <li><input type="checkbox"/> 試行錯誤の時間を設定する</li> <li><input type="checkbox"/> 思考の道具・材料を用意する</li> <li><input type="checkbox"/> 前回の失敗を振り返らせる</li> </ul>
	対話的な学び	<p>3 見通しを持たせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 課題を先生が出す</li> <li><input type="checkbox"/> 子どもの疑問を教師が課題にする</li> <li><input type="checkbox"/> 子どもに課題を考えさせる</li> <li><input type="checkbox"/> 手順を示す</li> <li><input type="checkbox"/> 具体的な方法を先生が出す</li> <li><input type="checkbox"/> 具体的な方法を子どもから聞く</li> <li><input type="checkbox"/> 簡易的にやらせてみる</li> </ul>
		<p>10 全体交流 (深める)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 子どもの発言を取り上げる</li> <li><input type="checkbox"/> わざと間違えた回答を出す</li> <li><input type="checkbox"/> 全員が説明する場を作る</li> <li><input type="checkbox"/> 自分の言葉でまとめさせる</li> <li><input type="checkbox"/> 図や表を使わせる</li> <li><input type="checkbox"/> 黒板に先生が考えを書く</li> <li><input type="checkbox"/> 子どもに考えを書かせる</li> <li><input type="checkbox"/> 友だちの考えを見て、改めて考えさせる時間を持つ</li> <li><input type="checkbox"/> 友だちの考えをノートに書かせる</li> <li><input type="checkbox"/> 他の問題を考えさせる</li> </ul>

- 4 粘り強く取り組ませる
- 取り組む計画を立てさせる
  - 止まっている子に既習事項を示す
  - 止まっている子に友だちの考えを見せる
  - 試行錯誤の時間を設定する
  - 思考の道具・材料を用意する
  - 前回の失敗を振り返らせる

- 10 全体交流 (深める)
- 子どもの発言を取り上げる
  - わざと間違えた回答を出す
  - 全員が説明する場を作る
  - 自分の言葉でまとめさせる
  - 図や表を使わせる
  - 黒板に先生が考えを書く
  - 子どもに考えを書かせる
  - 友だちの考えを見て、改めて考えさせる時間を持つ
  - 友だちの考えをノートに書かせる
  - 他の問題を考えさせる

- 10 全体交流 (深める)
- 子どもの発言を取り上げる
  - わざと間違えた回答を出す
  - 全員が説明する場を作る
  - 自分の言葉でまとめさせる
  - 図や表を使わせる
  - 黒板に先生が考えを書く
  - 子どもに考えを書かせる
  - 友だちの考えを見て、改めて考えさせる時間を持つ
  - 友だちの考えをノートに書かせる
  - 他の問題を考えさせる

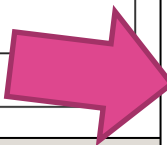
# ②9月20日 研修講座「学習指導」(授業改善)

本時の目標

板書型指導案に  
授業改善の視点を  
組み込み  
具体的な場面に  
チェックリストに

B評価

	課題把握	課題追求	課題解決	振り返り
主体的な学び	1 学ぶことに興味・関心を持たせる 3 見通しを持たせる	4 粘り強く取り組ませる		2 自己のキャリア形成の方向性と関連付けさせる 5 自己の学習活動を振り返り、次につなげさせる
対話的な学び		6 ペアや班で考えさせる 7 先生との対話から考えさせる 8 先哲の考えから考えさせる 9 多様な表現方法を用いて話し合わせる	6 学級全体で考えさせる	
深い学び		11 情報を精査して考えを形成させる 12 問題を見いだして解決策を考える	10 知識を相互に関連付けてより深く理解させる	



それぞれの学びの具体例

	課題把握	課題追求	課題解決	振り返り
主体的な学び	1 学ぶことに興味・関心を持たせる □既習を出す □「できない」を体験させる □日常場面で出す □実物を出す □疑問を聞く、書かせる □気付いたことを聞く □前時のまとめを見直す	4 粘り強く取り組ませる □取り組む計画を立てさせる □止まっている子に既習事項を示す □止まっている子に友だちの考えを見せる □試行錯誤の時間を設定する □思考の道具・材料を用意する □前回の失敗を振り返らせる		2・5 振り返りの具体例 □ふりかえりの時間を作る □学習して考えたこと □自分の考えが変化したこと □わかった要因を □わかった場面を □これからやってみよう □自分の生活と学んだことに関連
対話的な学び	3 見通しを持たせる □課題を先生が出す □子どもの疑問を教師が課題にする □子どもに課題を考えさせる □手順を示す □具体的な方法を先生が出す □具体的な方法を子どもから聞く □論理的にやらせてみる	6 ペアや班で考えさせる □まず自分の考えを書かせる □時間を決める □道具(※・B付箋)を用意する □何について話し合うか明確にする □聞き手に感想を言わせる □紙や黒板に書いて備忘させる	6 学級全体で考えさせる □発表の順番を決めておく □どの立場から指名するか決めておく □話し合いの焦点は何か決めておく □聞き手に質問や感想を聞く □ペア・グループの時間をとる □話し合いを板書する	
深い学び		7 先生との対話から考えさせる □発問をいくつも用意しておく 8 先哲の考えから考えさせる 11 情報を精査して考えさせる □何についてまとめるか確認する □子どものカギとなるつぶやきを取り上げる □解決の方法や手順を教える □イラスト・表など資料から考えさせる □共通点や相違点を考えさせる	7 先生との対話から考えさせる □発問をいくつも用意しておく 8 先哲の考えから考えさせる 11 情報を精査して考えさせる □何についてまとめるか確認する □子どものカギとなるつぶやきを取り上げる □解決の方法や手順を教える □イラスト・表など資料から考えさせる □共通点や相違点を考えさせる	9 交流の表現方法 □表現する時間を作る □どんな方法で表現するか決めさせる。 □他の人の表現方法と比較させてよりよく表現させる □実物を操作して説明させる 10 全体交流(深める) □子どもの発言を取り上げる □わざと間違えた回答を出す □全員が説明する場を作る □自分の言葉でまとめさせる □図や表を使わせる □黒板に先生が考えを書く □子どもに考えを書かせる □友だちの考えを見て、改めて考えさせる時間を持つ □友だちの考えをノートに書かせる □他の問題を考えさせる



# ②9月20日 研修講座「学習指導」(授業改善)

## 4年生の力で「物語が好き！」な人をふやそう！ ポケモ/をさがして、ポケモ/ずかんを作ろう！

- 【単元のめあて】① 物語の場面の様子をくらべながら、色々な想像をして、物語を楽しむ！  
② 物語を読んで、特に心に残った場面や出来事を考えながら、感想を書くことができる。

【ポケモ/とは・・・】  
ポケットに入れておきたいくらい面白くてすてきなお気に入りの物語のこと。

クラスの実態  
に応じ、子ども  
達が「やってみ  
たい！」と思う  
ような単元名  
を設定し、意  
欲化を図る。

時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
学習内容	☆単元の流れを知る ☆戦争について知る <input type="checkbox"/> 「1つの花」を聞いて、初めの感想を書く。	<input type="radio"/> 「1つの花」を読み、それぞれの場面についてまとめ、どのような物語なのか話し合う。	<input type="checkbox"/> 「1つの花」を読み、登場人物の思いについて話し合う。	<input type="checkbox"/> 「1つの花」を読み、2つの場面について考え、話し合う。	<input type="checkbox"/> 「1つの花」を読み、2つの場面について考え、その違いについて話し合う。	<input type="checkbox"/> 「1つの花」を読み、題名や物語中の言葉について考えた思いについて話し合う。	<input type="checkbox"/> 「1つの花」のポケモ/ずかんを完成させよう！ <input type="checkbox"/> ☆ 自分がずかんに入れたいポケモ/を発見しよう	<input type="checkbox"/> ☆ これまでの学習を生かして、自分の決めた本でポケモ/ずかんを作ろう！	<input type="checkbox"/> ○ これまでのまとめをしよう！	<b>テストに挑戦しよう！</b>	



# ②9月20日 研修講座「学習指導」(授業改善)

## 授業実践 (寿都小学校4年)

(9)月(20)日 (火)曜日 第(4)学年 教科(国語) 単元名(『一つの花』) (A) B 習熟

本時の目標 父の思いにふれながら、題名である『一つの花』(対比「一つ」)にのらぬ意味について考える。

1. 手元の資料の復習	① 一つの花	父の最後の言葉	一つの花	物語に一番ぴたりな	一つの花	戦中	一つの花	コズモス	コズモスのトーン
2. 父の思いにふれながら	一つの花	父の思いにふれながら	一つの花	一つの花	一つの花	戦中	一つの花	コズモス	コズモスのトーン
3. 本時の導入	一つの花	父の思いにふれながら	一つの花	一つの花	一つの花	戦中	一つの花	コズモス	コズモスのトーン
4. 読書	一つの花	父の思いにふれながら	一つの花	一つの花	一つの花	戦中	一つの花	コズモス	コズモスのトーン
5. 音読(5分)	一つの花	父の思いにふれながら	一つの花	一つの花	一つの花	戦中	一つの花	コズモス	コズモスのトーン
6. 自力解決 → 小集団	一つの花	父の思いにふれながら	一つの花	一つの花	一つの花	戦中	一つの花	コズモス	コズモスのトーン

評価基準(主知・技・態)

B評価…… 題名について、自分なりの考えをもち、その理由を教科書を用いて説明できる。

教師の全体交流3か条

- ① 子ども達に発言を復唱してもらいます。
- ② 開いた質問を増やします。
- ③ 全体交流の始めの発問に力を入れます。

【最重要】

- ① 子ども達の考えをすべてとりあげる必要はない!
- ② 「じゃあ、〇〇さんの考えから聞きます」はNGワード!
- ③ とにかく全体交流のはじめの発問にこだわる!
- ④ 様々な方法で子ども達の考えを価値づけていく!

今日の授業の全体交流は

整理: [ 深める ]

具体的には(子どもの姿で)

- ③ 深める発問
- ④ 教師の発問やホケに対して、話したり、答えたりできる。

教師の全体交流3か条

- ① 子ども達に発言を復唱してもらいます。
- ② 開いた質問を増やします。
- ③ 全体交流の始めの発問に力を入れます。

【最重要】

- ① 子ども達の考えをすべてとりあげる必要はない!
- ② 「じゃあ、〇〇さんの考えから聞きます」はNGワード!
- ③ とにかく全体交流のはじめの発問にこだわる!
- ④ 様々な方法で子ども達の考えを価値づけていく!

今日の授業の全体交流は

整理: [ 深める ] 応用問題 [ ゆさぶり ] 練習問題 探究 その他 = 6 : ④

具体的には(子どもの姿で)?

- ③ 深める発問、について、考えたり、話し合ったりできる。
- ④ 教師の発問やホケに対して、話したり、答えたりできる。

## ②9月20日 研修講座「学習指導」（授業改善）

### 協議・交流

#### ○小学校グループ

- 低学年への指導法について  
⇒授業改善のチェックリストを使う
- 全体交流の持ち方  
⇒机間指導で一人一人の考えを把握
- 低位の子への指導について  
⇒周囲を育てる、ルーティン化

#### ○中学校グループ

- 振り返りの方法  
⇒統一の様式を作成し使用  
毎回コメントを返す  
クロムブック等のICTを活用
- 少人数学級における道德の授業  
⇒ICT等を活用した周辺校との交流

## ②9月20日 研修講座「学習指導」(授業改善)

### 受講者からの声…自身の課題解決に向けた内容

#### ○見通しをもった単元計画

- ・「今、何をすべきか」が分かる

#### ○導入の方法

- ・いかに子どもたちを引き付けるか
- ・教師が意図をもってわざと間違える
- ・子どもが課題を読み上げる時のルール

#### ○交流について

- ・子どもの思考を想定した発問の準備
- ・教師が話し過ぎず、子ども同士で深める
- ・低位の子は仲間の言葉を復唱し、上位の子が仲間の言葉を要約する
- ・子どもの自然な反応

#### ○授業改善チェックリスト

- ・自身の授業を振り返るときに有効



# 4 検証授業について

---

11月1日(火)実施

仁木町立仁木小学校 5年

山内 智志 教諭

国語 「雪わたり」

# 4 検証授業について

---

## 検証テーマ

**「学びに向かう力」を育成するための  
授業改善**

# 4 検証授業について

---

## 検証の視点

1. 全員が「考えてみたい、説明したい、探求したい」と思える発問の工夫
2. 意欲がもてる本時の課題提示 ～which型課題～
3. 単元を貫く課題の提示

# 単元全体を貫く課題の提示（ゴール目標）

---

- ・読みたいと思ってもらえる「雪わたり」のポップイメージを作ること
- ・「雪わたり」の魅力を伝える推せん文を書くこと

## メッセージ・キャッチコピー

- この本を読むと～になる
- ～とは何か
- ○○と○○～の物語

### 【物語の主題は何か】

- 作品の心を集める
- はじめと終わりの**変化**を読む
- 山場の場面に着目、感情の変化を深く読み取る



これができれば  
ポップが作れる！  
本を推薦できる！

## 表現の面白さ

特徴的な表現や  
人物像が表現された言葉

- リズムのある表現の効果は？
- 例えを使った情景描写の効果は？

○○○○

○○○

- 全体の構成をとらえる
- 山場の場面は？

続きが読みたくなる  
展開・あらすじ紹介

## 内容の面白さ

図書推薦会へ向けて

「読みたい！」と思わせるために、何を伝えるか...

# 意欲が持てる本時の課題提示

**ま** なみだのわけはそれぞれちがうか？  
〜という意味では同じ  
〜という思いは同じ

**ま** きつねの生徒

みんな感動して、両手を上げ、ワッと立ち上がりました。そして、キラキラな涙をこぼしたのです。

**か** 四郎もかん子もあんまりうれしくてなみだがこぼれました。

**か** 四郎・かん子

うれしいなみだを流すほど  
お互いのことを思っていて

食べたから  
何がそんなに特別？  
人間がきつねの作った  
だんごを食べた。  
人がはじめて食べた。  
伏線 背景

喜んでくれたから  
おいしくて？  
用意してくれた。  
うらぎったりしなかった...  
きつねの思いが伝わった  
たとえ体がさがれても  
うそ言わない！

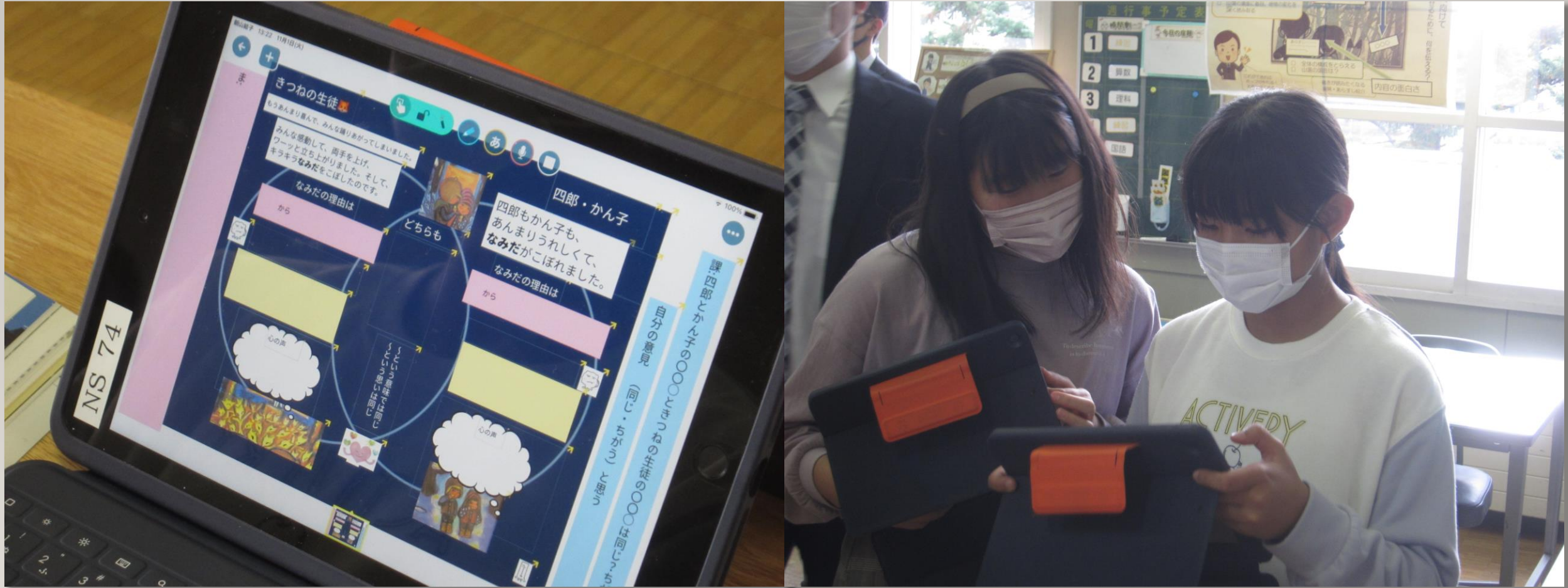
わけ  
理  
思

雪わたり  
宮沢賢治

# 意欲が持てる本時の課題提示



# 意欲が持てる本時の課題提示





# 発問の工夫



# 発問の工夫



# ICT機器の効果的な活用

『物語を一文で表すと』

『物語の主題（作品の心）』  
 作者が、物語に込めた思い  
 メッセージ・生き方・価値観・人生観  
 人として大切なことは？

私が読み取って考えた「雪わた」

友達の考えた主題で、ナルホド！いいね！  
 【 】さん

『物語の山場』  
 ・中心人物の気持ちや感情が大きく動くところ  
 ・話の流れが決定的になる  
 ・伏線が回収される  
 ・作品の主題に大きく関わる

四郎が、決心して言いました。  
 「ね、食べよう、お食べよ。  
 ぼくらはだますなんて思わないよ。」  
 そして二人はきびだんごをみんな食べました。

**きつねの生徒**  
 みんな感動して、両手を上げ、ワーツと立ち上がりました。そして、キラキラなみだをこぼしたのです。

**四郎・かん子**  
 四郎もかん子も、あんまりうれしくて、なみだがかぼれました。

**なみだの理由は**  
 人間が幻灯会に来てくれたから？  
 だんごを食べてくれたから  
 そんなに特別なこと？  
 なぜ、感動のなみだを流すほど嬉しいの？  
 ・信じてもらえたから  
 ・今まで信じてくれる人間はいなかった  
 ・心が通じ合えたから  
 ・誤解が解けた

**きつねたちにとっては特別なこと**

**どちらも**  
 人ときつねという関係の壁を越えて  
 ・心から通じ合えた  
 ・絆を結べた  
 ・もう一つの意味では同じ  
 ・心という思いは同じ

**なみだの理由は**  
 四郎が美味しすぎたから？  
 つられて泣いただけ？  
 食べたことを喜んでくれたから  
 なぜ、なみだを流すほど嬉しいの？  
 ・きつねたちの決意や  
 ・今までの思いが伝わったから  
 ・心が通じ合えたから

**～みんなと話し合っけ気づいたこと、参考になった意見など～**

**自分の意見（同じ・ちがう）と思**  
 課四郎とかん子の〇〇〇ときつねの生徒の〇〇〇は同じ？

幻灯会	出会いの場面
信用できる 友だち だますわけがない	四郎は、少しきよつとしてかん子を後ろにかはって、しっかりと足をふんばってさげびました。 「きつね、こころをきつねの子、きつねのだんごはうまのへん。」 きつねは、信用できないものだ（思い込み）
	1 一緒に歌ったり踊ったりしたこと
	2 熱心に誤解を解こうとする姿を見て
	3 帰り道を心配してくれたこと
	4 幻灯会に招待してくれたこと
	5 礼儀正しく接してくれたこと

課 四郎とかん子が、紺三郎を信用した理由をランキングにするなら？

- 【リズムある表現】
- 【思ったことや気づいたこと】
- 【例えを使った情景描写】
- 【紹介する表現の面白さを一つ選ぶとしたらどれ？その理由は？】

表現の工夫とその効果についてまとめる

# 検証の視点

1. 全員が「考えてみたい、説明したい、探求したい」と思える発問の工夫
2. 意欲がもてる本時の課題提示 ～which型課題～
3. 単元を貫く課題の提示

**管内各校への提案・発信  
さらなる研究推進**

# 5 指導案バンクについて

---

明日の授業づくりの  
ヒントとなるように!

指導案

板書案

単元計画

クラウドフォルダ

# 後志の先生方に向けて

## 4月～9月

# 所員が所属校から収集

## 10月～

# 管内の先生方へ 閲覧開始

後志教育研修センター

## 指導案バンク

後志教育研修センターでは、センター所員の所属校で日常実践された指導案や略案、授業づくりのアイデアなどを、指導案バンクに掲載し、後志管内で共有していきます。ぜひ、日常の授業づくりに役立てていただけたら幸いです。また、貴校における指導案などのデータも募集しています。日常、実践した事がありましたら、ぜひ後志教育研修センター（下記の問い合わせ先）までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

### 指導案コンテンツの閲覧方法

記のリンクから後志教育研修センターのフォルダ内にある小学校・学校に進んでいただき、閲覧をしてください。

[ps://siribesi-](https://siribesi-sharepoint.com/f:/g/personal/skc_siribesi_onmicrosoft.com/EuNfHewiwBILu5NDqLq2lCwBrtFuRR3iaRlQ6-cC64M4ig?e=oenGt4)

[sharepoint.com/f:/g/personal/skc\\_siribesi\\_onmicrosoft.com/EuNf](https://sharepoint.com/f:/g/personal/skc_siribesi_onmicrosoft.com/EuNfHewiwBILu5NDqLq2lCwBrtFuRR3iaRlQ6-cC64M4ig?e=oenGt4)

[HewiwBILu5NDqLq2lCwBrtFuRR3iaRlQ6-cC64M4ig?e=oenGt4](https://sharepoint.com/f:/g/personal/skc_siribesi_onmicrosoft.com/EuNfHewiwBILu5NDqLq2lCwBrtFuRR3iaRlQ6-cC64M4ig?e=oenGt4)

※Ctrl キーを押しながらクリックしてリンクを表示してください。

☆右の QR コードからも閲覧が可能です。



### 指導案募集

- 貴校において、過去に実践された指導案を募集しています。学習指導案、略案、板書型指導案、授業づくりのアイデアなど何でも OK です！
- ※個人情報保護の観点から、児童の実態や児童名、指導者名を削除してください。
- 指導案などのデータの送付は下記のメールアドレス宛てにお願いいたします。（メールを送付される前に、下記の問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。）  
[skc@siribesi.onmicrosoft.com](mailto:skc@siribesi.onmicrosoft.com)

お問い合わせ先

後志教育研修センター 指導案バンク担当

岩内町立岩内西小学校 結見

TEL 0135-62-0263 FAX 0135-62-0214

検索



+ 新規

↑ アップロード

共有

リンクをコピー

同期

並べ替え



後志指導案バンク

アイテムの選択範囲の切り替え



名前

更新日時

更新者

ファイルサイズ

共有



小学校指導案

5月2日

後志教育研修センター

7 個のアイテム

共有



中学校指導案

5月2日

後志教育研修センター

9 個のアイテム

共有



特別支援

8月4日


後志教育研修センター

4 個のアイテム

共有

 名前 	更新日時 	更新者 
 国語	6月12日	後志教育研修センター
 算数	6月12日	後志教育研修センター
 道徳	6月12日	後志教育研修センター
 理科	6月12日	後志教育研修センター
 社会	6月12日	後志教育研修センター
 家庭	8月26日	後志教育研修センター
 保健	8月26日	後志教育研修センター



自分のファイル > 後志指導案バンク > 小学校指導案 > **国語** 

↑ **名前** ▾

**更新日時** ▾



1年

6月12日



2年

6月12日



3年

6月12日



4年

6月12日



5年

6月12日



6年

6月12日

	↑ 名前 ↓		更新日時 ↓	更新者 ↓
<input checked="" type="checkbox"/>	 詩を味わおう	 	8月4日	後志教育研修センター
	 天気を予想する		8月4日	後志教育研修センター
	 雪渡り		8月4日	後志教育研修センター
	 白神山地		8月4日	後志教育研修センター
	 言葉と事実		8月19日	後志教育研修センター
	 情報ノートを作ろう		8月19日	後志教育研修センター
	 新聞を読もう		8月19日	後志教育研修センター
	 水平線		8月19日	後志教育研修センター
	 5月14日		8月19日	後志教育研修センター

# 「おしなりの窓」書評を書こう

## 〜babazon レビューランキング〜

単元の目標⇨これができようになる！

- ◎いろいろな言葉を知り、考えて使うことができる。
- ◎物語の全体をとらえ、人物像や表現について読むことができる。
- ◎文章を読んで理解したことをもとに、自分の考えを書くことができる。
- ◎事実と感想、意見とを区別して書くことができる。

時間	学習内容
1	言葉の意味は？
2	主人公の <b>前</b> の心情は変わった？①
3	主人公の <b>前</b> の心情は変わった？②
4	主人公の <b>前</b> の心情は変わった？③
5	窓に映った物は全部でいくつ？
6	このお話の「窓」＝ あなたなら窓を何が見たい？
7	正しい敬意の表し方はどれ？
8	正しい敬意の表し方はどれ？
9	テスト
10	<del>あなたなら、窓をどのような物を見たい？大発表！</del>
11	読書感想文・ポップ・帯・書評はどれ？
12	書評の書き方のこつ「6つ」がわかるか？
13・14・15	babazon 書評レビューを書く。
16	レビューを評価しよう。





## 国語科学習指導案

日時 令和元年11月 5日(火) 6校時  
児童 須賀支町立北澤小学校 6年1組  
男子〇名 女子 〇名 計19名  
指導者 新詔 〇〇 〇〇

### 1. 単元名、教材名

単元名 「登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう」

教材名 『母の糸』

### 2. 教材について

本教材は自然を舞台に主人公の太一が成長する物語である。尊敬する父を母で亡くした太一は、与吉いさの弟子となり、やがて「村一番の漁師」となる。ある日、太一は父が暮った瀬にやってくる。そこには父を慕った瀬の主がいた。

本教材の主人公は周りの人物の影響を受けながら「村一番の漁師」へと成長する。現実の人間の成長にも、周りの人々の存在が大きく関わっている。「父」「与吉いさ」「母」など、周りの人々と関わる中で、太一がどのような影響を受け、どう成長していくかに気づかせたい。また、太一が考える「本当の一人前の漁師」について瀬の主と出会う前と後での変化を答えたり、「瀬の主」が何を象徴しているのかを答えたりすることで、太一が慕んだものは何だったのかを確かませ、物語の主題に迫らせたい。そして、太一のような尊厳や人生の選択をすることが、物語の世界だけでおこることなのではなく、現実生きる自分自身も同じであることに気づき、自己の生き方を見つめ直すきっかけにしていきたい。

### 3. めざす子ども像

(省略)

### 4. 研究主題

#### 【3ブロック研究主題】

未来を生き抜く資質・能力を育む子どもの育成～「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を通して～

#### 【回頭部会研究主題】

学ぶ意欲を高める学習指導の工夫～福かて豊かな国語力を培おう～

#### 【北澤小学校研究主題】

互いの思いや考えを適切に伝え合う子どもの育成～国語科を軸として～

## 5 指導案バンクについて

---

今後、後志管内のより多くの先生に  
活用してもらえるように！

## Ⅲ. 研究の成果と課題

### 成果

- 研修講座では、センターが推進している板書指導案を講座を通して進めることができた。
- 集合形式の講座ができ、検証授業も実施することができた。
- 指導案バンクを始動させることができた。

### 課題

- 研修講座は午後日程で行ったため、短時間の中でさらに中身のある内容を目指す。
- 指導案バンクを今後、いかに管内の先生方に広めていくか。

後志管内各校の  
OJTに寄与できる  
研修センターを目指して…



# 令和4年度後志教育研修センター 調査研究事業報告会

学習指導調査研究委員会

ご静聴ありがとうございました。



令和5年1月12日

於：後志教育研修センター